

びとう和広後援会ニュース

2018. 10. 1

第 49 号

発行責任者
浅居繁樹

安心で元気な
三田のために

これからも全力で
頑張ります！



2017年度決算審査、
全管理職相手に質問

9/27

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。今年は取分け災害の多く、皆様が平穏であることを心から願っております。

今、日本の国政では、審議もそこそこに、次々と法律や制度が新設・廃止・改定されています。働き方改革や健康増進法も中途半端ですし、種子法の廃止においては、日本の食の安全を根幹から揺るがす判断を衆参とも 5 時間程度の審議で決定してしまいました。遺伝子組み換えの種子が大資本の力で使われる日も遠くないように思えます。これではアメリカの言いなりです。

長崎の平和式典で、唯一の被爆国日本の総理は、「核保有国と非保有国の橋渡しをする。」と挨拶。私は現地でその言葉を聴き、情けなく思いました。

国民民主党が立ち上がり、中道的な野党として、大きな受け皿になってほしいのですが、まだまだ認識されず、支持率もなかなか上がりません。働く者・生活者の声を国会に届ける政党です。私も応援してまいります。

三田市では、野焼き問題や障害者の長期監禁問題など、全国版ニュースでも取り上げられていますが、法律と実社会との間で、その運営の難しさを痛感しています。

三田市議会の一般質問では、6月議会で4項目、9月議会で3項目について、質問しました。(添付資料「市政報告」参照)特に、9月議会では、子育て中の会社員から、「保育園周辺が禁煙区域外である。」との指摘を受け、今まで抱えていた喫煙課題とあわせて、一般質問しました。市長から、今年中に、禁煙区域は保育園周辺まで拡大し、従来の三田・新三田駅に加え、新たに相野駅や神鉄各駅も禁止区域を設ける旨の答弁を頂きました。市職員も喫煙モラルを徹底し、禁煙支援も強化する、とのことでした。

後援会では、三菱電機労組(三田)と「潮干狩りツアー」共催、後援会市政報告会、構内市政報告会などを実施しました。多くのご参加ありがとうございました。また、今年も10月13日のオータムフェスティバルに協賛し、くじびきコーナーを開設いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

これから迎える人口減少社会や急激な少子・高齢化と厳しい財政に対し、皆様の声をしっかりとお聞きし、IT技術を活かした抜本的な改革を訴えながら、皆様の声を活かせる市政へと、頑張ってまいります。引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



三田市議会議員
びとう かずひろ
和広



びとう和広の活動日記

5月以降の活動報告です。



ウチのまちはこんなにええトコ!

5/10

藤沢市を調査:これぞ市民協働!藤沢市を好きになって、藤沢ファンクラブに入り、インスタグラム等で写真をアップ。その中から選ばれた写真を、ネットや市役所に展示します。

球技大会で挨拶
伊丹グラウンドでソフトとテニス



球技大会で挨拶

6/2

大阪北部地震の日 6/18



喫煙可能場所が目の前!

大阪北部地震の日:電車待ちの学生が、喫煙可能場所のすぐ近くのキッピースクエア人工芝に座り込んでいました。

学園地域に活動拠点
「まほろばフレッツァ」開所式
学園地域の商業施設と
市民活動拠点としてオープン。



まほろばフレッツァ開所式

6/3



鉄道の連続高架化

7/4

福岡県春日市を調査
県と近隣市が役割分担し、西鉄の線路を連続立体高架にする三十年来の事業がもう少しで完成します。三田も高架にしたいです。



研究所支部
新人研修

7/21



三田支部
新人研修

フレッシュプラン研修会
2018年7月28日(土) 豊 神戸ホテル フルーツ・ブラー

7/28

新人研修会で活動報告
研究所支部と三田支部で
労働組合と政治活動の必要性に
ついて、活動報告を行いました。



小・中学生バレーボール教室

8/4

小・中学生バレーボール教室:三田市60周年の一貫で神戸親和女子大のバレー部50人が先生です。

三田市制六〇周年記念として
夏期巡回ラジオ体操が三田に!
ウッディタウン駒ヶ谷多目的グラウンドに
九〇年を迎えた巡回ラジオ体操が
やってきました。私も参加し、記念に
ボード前で写真を撮りました。



夏期巡回ラジオ体操

8/27



OB会行事に参加

9/22

OB会行事「吹き矢教室」に参加
今年はかなり上達しました。

平和記念式典の前日、連合主催の集会です。



連合2018 平和行動in長崎 集会 8/8

高齢化した「語り部」の皆様の想いを受けて、平和を語り継ごうと頑張っている高校生平和大使やユースの活動を知り、自分なりに出来ることは何か、そして、私も伝えられることを伝えていこう、と考えました。

太平洋戦争は、日本の真珠湾攻撃から始まり、ミッドウェー海戦大敗以降、東南アジアや沖縄や本土への襲撃を経て、広島と長崎の原爆で終戦となりました。私は、当時の大統領がなぜ原爆使用を許可したのか、不思議でした。その責任が重すぎるからです。

当時の資料公開から、アメリカ上層部は真珠湾攻撃を事前に知っていたこと、アメリカ兵十数万人の命を守ることを口実として、終戦以降の立ち位置のために原爆を使いたかったこと、大統領は最終投下判断をしなかったことなど、いろいろ分かってきました。

また、本来は事前に宣言すべき新型爆弾使用を宣言せず、ロシアの参戦をみて早期の終戦と、実績を見せることで終戦後の優位を図ったと言われています。

原爆は、広島はウラン型、長崎はプルトニウム型とあえて2種類を使いました。広島では14万人、長崎は7万人が一瞬で亡くなりました。「目で確認してから投下」の指示により、曇り空の雲の切れ間から投下したため、長崎の中心市街地から少し外れ、くの字に曲がった湾の形もあり、中心市街地の被害が少なかったと言われています。しかし、投下から73年経った今でも苦しみを抱えた方がおられ、関連死者はすでに14万5千人にもなっています。

三菱電機長崎の独身寮や実習所が爆心地に近かったため、寮生や実習生など472名が骨もなくなるほどの高熱により、一瞬で亡くなりました。

毎年、三菱電機長崎では独自の慰霊祭を行っています。電機連合はその慰霊祭に参加し、私も電機連合の立場で参加しました。今回、三菱電機の語り部：中島さんが体調不良で欠席となり、残念でした。



1945年8月の終戦から間もなく、労働組合法が1945年12月公布、1946年3月施行されました。

労働組合の活動において、戦争の悲惨さを目の当たりにした先輩たちの「平和の尊さを将来に語り継いでいこう!」という想いが組合活動に組み込まれていったのではないのでしょうか。

昨年のノーベル平和賞に ICAN : 核兵器廃絶国際キャンペーン (International Campaign to Abolish Nuclear Weapons) が選ばれたことはとても意義深く、核兵器廃絶に向け、語り継ぐ活動が認められたのだと思います。私は、唯一の被爆国だからこそ、その先頭に日本がいるべきだと考えます。

「核保有国と非保有国との橋渡しとなる」という安倍首相の言葉に虚しさを感じたのは、私だけでしょうか。

びとう和広後援会より

- 4月18日：後援会定期総会以降、
6月23日：三菱電機労組(三田)と「潮干狩り」共催
7月18日：後援会市政報告会(菱和会館にて)
9月12日：びとう和広構内市政報告会
等の後援会関連行事を実施しました。

潮干狩りツアー



潮干狩りツアー
MELON 三田と共催
干潮時に雨が強く残り残念！

6/23

市政報告会

びとう和広市政報告会
多くのご参加
ありがとうございました。



7/18

これからの予定は

- 10月13日：三田製作所オータムフェスティバルに協賛
今年も後援会でくじびきコーナーを開催します。
11月：政策懇話会
11月：ボウリング大会
等の後援会活動を予定しています。

また、「皆様との対話」をモットーに、毎月2回の構内市政相談会を続けるとともに、後援会員のお宅訪問や労組訪問を続けてまいります。皆様のご支援・ご参加・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

後援会会長 ご挨拶

日頃より後援会活動に対しまして、ご理解とご協力いただきましてありがとうございます。

日頃より、びとう議員が市議会の場で自信をもって語れるよう、各団体のメンバーとの意見交換会や政策懇話会など、対話の促進と充実を図ってまいりました。今回の一般質問では、会社の女性社員からお聞きした保育園周辺の喫煙問題に対し、市長から、今年中に対応する旨の回答を得ました。皆さんからのいろいろな声が活かされた成果です。

国民民主党の党员として

「国民民主党」党员として活動します。

電機連合の方針は、「国民民主党支持に軸足を置く」とのこと、参議院の「石上としお」・「矢田わかこ」両議員も、衆議院の「浅野さとし」議員も国民民主党員となりました。

来年の参議院選挙を戦う「石上としお」議員の応援を考えると、びとうも「国民民主党の党员」として応援することが自然である、と考えました。党员として、皆様の声を国政に反映できるよう、しっかり声をあげていきます。

石上としお参議院議員が三田来所



三菱電機正門前で 9/12

びとうの構内市政報告会の後、ご挨拶いただき、集合写真



後援会として、びとう議員が議会活動の中で、皆さんからのご意見、ご要望をしっかりと反映できるよう、これからも皆さんとの接点を大事にしていきたいと考えておりますので、報告会やイベントなどへのご参加をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、これからも皆様の倍旧のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。後援会を代表してのご挨拶とさせていただきます。



びとう和広後援会
会長 浅居 繁樹

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bito-kazuhiro.com>